

令和7年度全国重症心身障害日中活動支援協議会地区研修会報告

地 区 名	近畿地区	開 催 日	2025年10月4日（土）
開催場所	あいほうぶ吹田 吹田市千里万博公園 12-27	参加人数	22名
担当施設	四天王寺やわらぎ苑、生活介護事業所「あいの」、はびきの園、大阪発達総合医療育センター「なでしこ」、枚方総合発達医療センター生活介護事業所、堺市立重症心身障害者（児）支援センターベルデさかい、あいほうぶ吹田		

【プログラム】

- 9:30 受付
- 10:00 開会挨拶 大石氏（やわらぎ苑）
- 10:10 講演「ボッチャとの出会いと挑戦」中村拓海選手 大阪発達総合療育センター所属
- 11:00 ボッチャルール等の説明 清水 博之氏 吹田ぼっちやの会会長
- 11:30 エキシビジョンマッチ 中村選手 VS 清水選手 4エンドマッチ
- 12:15 昼休憩
- 13:15 ボッチャ交流戦（参加者全員）
- 16:00 情報交換会 閉会挨拶 仁木施設長

【内 容】

- ・講演「ボッチャとの出会い」
- ◇メダル持参 ※写真撮影 OK（SNS 掲載は禁止）触れることも快諾していただいた
パラリンピックの裏話やベストの1投などボッチャの魅力についてお話しいただいた
- ・ボッチャルールの説明 資料を用いルール説明 清水氏
- ・エキシビジョンマッチ 4エンドマッチ
- ・午後から交流戦
 - 1 チーム2～3名×8チーム トーナメント戦 敗者戦あり
 - 1 回戦、準決勝、敗者戦は2エンドマッチ 決勝戦は4エンドマッチ
 - 優勝チームは中村選手と頂上決戦
- ・情報交換会 各人から本日のボッチャ関連、その他質疑応答

【まとめ】

ボッチャは、パラリンピックでも行われるスポーツである。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを、自身の体や道具を使って投げ、いかに近づけるかを競うスポーツである。競技用のボールは軽く、ルールもわかりやすいため、障害がある人もない人も、そして年齢や身体能力に関係なく誰でも参加しやすい。中村拓海選手は、始め、道具を使ってボールを投げていたが、「やはり自分で投げたい」と手のリハビリや、練習を重ねてきた。そしてボッチャは、ボールをいつ、どこに投げるか、スキルと頭脳を使ったチームでの戦略が重要となる。中村拓海選手と清水博之選手のエキシビジョンマッチでは、高度な戦略にハラハラし、感動した。今回は、多くが初対面の他施設の参加者とチームを組み、東京パラリンピックのメダリストである中村拓海選手にアドバイスをいただきながら試合が進んだ。参加者は勝つことを共通の目標にすることで、緊張感ある中、楽しい時間を過ごし、他参加者との交流も深まった。人生における楽しみの、選択の一つになるよう、ボッチャの魅力を伝え、多くの人に参加してもらいたい。